

# モニター通信 No.5

皆さんから寄せられた「モニター通信1月分」を紹介します。

## 「電子マネーについて」

～情報高度化により、プリペイドカードや仮想通貨など電子マネーによる取引が活発化し、今後一層の拡大が予想されます。電子マネーについてどのような意見を持っていますか？～

### モニターから No. 1

私は毎日の買い物においてクレジットカードを使用しており、たまに大手スーパーの電子マネーによる買い物を行っております。クレジットカード支払いは後払い、電子マネーによる買い物は予め電子マネーカードに現金を入金し、買い物時即支払いとなります。いずれも現金での決済でないのが特徴となります。どちらも優劣がありますが、現金を持ち歩かなくとも買い物ができる利便性が大きく感じられ、今後消費税10%に引き上げに伴い、ポイントが付与される見通しでお得感がありますが、現金支払いと異なり使い過ぎに注意しないと予算オーバーになりかねない懸念があります。

いずれにせよ、時代の流れで電子マネーによる取引がより一層活発になることは目に見えるので、情報収集に十二分に心したいと思う。また最近ニュースとなっている仮想通貨については、よく仕組みが理解出来ないので、行政側で詳細な周知が必要と思われます。

### モニターから No. 2

私は3枚持っています。利用するとポイントになり、ポイントで買い物ができるのでお得な感じ。知らないうちに結構貯まります。1枚にまとめると便利ですが、個人の嗜好がデータに残ってしまい管理されてしまう気がするし、携帯電話は落として故障してしまいそうなので、流通専用ポイントカードがあれば良いです。

### モニターから No. 3

電子マネーとして、普段よく利用するスーパーで使えるカードを持っています。スーパーだけでなく、ショッピングモールや宅配便の支払いにも使えるので、ほとんど毎日使っている状況です。現金での支払いに比べ、ポイントが付くという点が気に入っており、特に不満を感じることはありません。私が持っている電子マネーはそれだけです。

現在スマホでの決済など、次々と新しい支払い方法が登場しているようですが、私の場合スマホを持っていないので全く関係がありません。政府が目指すように、そのうち現金での支払いはますます少なくなっていくと思います。そうすると現行のATMも減っていくでしょう。電子マネーの普及は、私たちが思ってもみない影響を与えるのではないかと危惧しています。

### モニターから No. 4

このたびは難しい課題を頂きました。アナログ社会で育った私には、大変な知識を必要と思

ました。電子マネーにはカード式とお財布携帯がありますが、使ってみるとなかなか便利でした。電車などの利用、買い物、ポイントカードへのポイント付与など、なるほどと思えることが沢山ありましたが、中でも一番の目的である現金の持ち歩きは不要とのことに感じました。

電子マネーについては子供たちから教わったものですが、昭和の大部分を過ごした私には大変に難しかったです。今後を考えて、改めて電子マネーについて考えますと、今の日本の普及率は20%と非常に低く、世界とは大きく引き離されていると聞きます。特に若者に多い状態ですが、「別に不自由していない」との理由が大勢を占めていました。そう言われると究極では私も同感でした。

ここで電子マネーのメリット・デメリットを直観的に考えて見ました。

○メリット            スマホ1台で管理できる。全国どこでも使える。

○デメリット        セキュリティに弱く、保証がない。残額が分からない。

ということのようです。私はこれからも少しでも解るように勉強をして世の中の動きを分かりたいと思います。

#### モニターから No. 5

情報の高度化により世界が一瞬にして繋がり、共有し便利・スピード・満足・・・が果てなく広がる現実。根底を成していた「お金」の姿・文化が変貌する今、日本でも仮想決済人口は350万人と聞きます。キャッシュレス決済・スマホ決済は既に普通化しています？現金文化であった日本も様変わりする日が近い！ですが、高齢化社会への対応はどうでしょうか。お札の顔を見ながら働く意欲を見出し、せつせと笹筒預金に微笑んだ高齢者方々をも、置き去りなくサポートして頂きたいです。安全面は如何なものでしょうか。現金の落し物、忘れ物はなくなるもののカード決済等にては紛失・盗難による個人情報漏洩などの不安はありますが、多数角度から丁寧に積み上げ、皆が理解出来て安心ある優しいマスタープランを立上げて頂きたいです。

#### モニターから No. 7

仮想通貨交換業者コインチェックから約580億円相当(当時のレート)の仮想通貨NEMが流失した事件が記憶にあるが、パソコン上のことだけなのか、値段の上がり下がり激しく現金化したらどのくらいなのか、全く分からない。私は仮想通貨に関しては取り扱うことは考えていない。

キャッシュカードとプリペイドカード数枚は、現金と共に持ち歩きよく使用している。よく買い物をする店でポイントが高かったり、カード決済時に割引がある物を使っているが、正直一本化できないかとは考えている。

スマートフォンは常に持ち歩き、電話・カメラ・コンピュータとして便利に使っているが、まだスマホ決済には使っていない。スマホ決済のアプリが次々と出てきていて、どのアプリを使えば自分にとってより便利で得をするのか、情報を収集中で決めかねている。

政府は2019年度に消費税増税対策の一環で、中小店舗のキャッシュレス決済の機器の導入の補助を予定し、茨城県も中小企業を対象にスマートフォン決済の実証実験に取り組むそうである。日本人(特に高齢者)は現金志向が強い上に、私と同世代の人でもスマホを使ってない人がまだいる。キャッシュレス決済の普及には、そのメリットや分かり易いサービスを企画して、広く理解をしてもらう必要があると思う。

## モニターから No. 8

以前にもこのテーマで書いたことがあります、もう数年前になるでしょうか。その時は、使い過ぎないように注意したいと書いた記憶があります。しかし、今やかなり当たり前のように使われていると思います。共通に使える店舗も増えて、便利になっています。ただ、残高がすぐにチェック出来ないのが、不便と言えば不便です。余裕を持って入金しておかないとなりません。

最近、近所にスーパーができましたが、ほとんどがセルフレジで入金機械、電子マネーを勧められるので、年配の方は行きづらいついていいると聞きました。良い点は、支払いがスムーズという点です。今後もこのように様々、変化していくと、そのうち私もついていけなくなるかなと、少し心配になりました。

## モニターから No. 9

《くらしのセミナーに参加して》

先日、くらしのセミナー「老後に向けてのアンチエイジングの小さな一歩」に参加させて頂きました。ひとくちにアンチエイジングと言っても様々なことがあります、食・睡眠・運動と分けて説明して頂いたのが分かりやすかったです。食に関しては、メディア等でいろいろ取り上げられているので、知識としては持っていましたが、組み合わせの効果等、とても参考になりました。見た目だけでも、と頑張ってはみるものの、やはり食事・睡眠・運動のバランスが整って、はじめて見た目にも反映されるのだなと思いました。日常の生活習慣を整えることがまず第一と、改めて実感しました。

楽しい講義と分かりやすい説明で、充実した時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。

## モニターから No. 10

普段の買い物の時、電子マネーはとても便利だと思います。それにまして、ポイントも付いたりします。ですが、チャージの場所が店によって様々であったりするので、その辺が統一されるともっと使いやすくなると思われます。ちなみに私もごく最近、電子マネーカードを作りました。ポイントも積もれば楽しみになりますので。

## モニターから No. 11

仮想通貨は電子マネーとは別に考えるべきものです。電子マネーは実在の通貨を電子化して使うものであるから、好みに応じて使用すべきです。自身の所持する通貨を電子化すること自体に不慣れ・不安があるなら使わなくていいし、慣れている・不安はないということなら使うべきです。わたしは財布の中にはほとんど現金を持ち歩かず、自宅内にもほとんど現金を置かないことにしているので、電車・バスの乗車は電子マネーですし、スーパーマーケットでの支払いはもちろんファーストフードでのコーヒー一杯もクレジットカード払いです。当然、電子化の際の諸記録(チャージ領収書・乗り越し清算領収書等)およびクレジットカードの支払い記録はすべて(100円のコーヒー代でも)要求し保管しています。

電子マネー・クレジットカード支払いで資産の使い過ぎを弊害という人たちは、その資産管理の能力を備えることから求められるべきで、それができないなら、現金で払っていても資産の管

理・増加は見込めない。電子マネーやクレジットカードでの支払い・利用が進めば世の中の通貨決済の効率化が進み、身近な例ではスーパーマーケットのレジでの長い行列が短くなるであろうから、人生の時間の節約になる。現金で支払うために財布から必要な額の現金を取り出し、受け取る方はそれを確認のために数えて、必要ならお釣りをまた数えて渡すという通貨というものができて以来 2000 年以上も続けてきた習慣を、コンピュータの助けがあるこの時代に、変えていくべきです。世界の先進国の中でも日本はとりわけ遅れていると言われているキャッシュレス社会を進めていきたい。

わたしがいくらかは現金を持っていなければならないことの必要性は、現金以外扱わないというところがあるからで、その最大のところは郵便局です。郵便局で作ったクレジットカードが郵便局内で使えないということの理不尽さには驚くほかない。切手もハガキも郵便局で作ったクレジットカードで買えないという国は日本だけであろう。郵便局は株式会社である、いつまでも昔の「親方日の丸」のつもりでいるべきではない。

#### モニターから No. 12

クレジットカードに紐つけた電子マネーを、便利に活用している。スマホに電子マネーアプリをダウンロードしており、コンビニ支払いは日常的にこれで済ませている。小銭がいらなし、電車やバスに乗車するために財布を準備する煩わしさが無い。しかし、スマホの活用が不慣れた高齢者には少し問題があるかもしれない。電子マネーでの決済状況は常にスマホで確認する必要があり、ここに活用の限界があるのかもしれない。

それでも、こんなに多様な利便性のある有能な道具はないと思う。これからは高額な商品を購入する場合にも活用していきたい。

#### モニターから No. 13

消費者にとって便利なものになっているが、ますます普及していくなかで、問題なのは高齢者世代にはなじまないの、お店側にとしてみると事務処理が複雑ではないでしょうか。（電子マネーと現金支払いの両方になる）高齢者の方がカードを持てたとしても、金銭感覚が難しくなり店側に都合の良い商品を勧められることもあり、カードだから大丈夫という意識がムダな買い物になってしまう。カードに慣れてしまい現金を持ち歩くことが少なくなると、時々「カード不可」というレストランもあつたりするので、飲食店は全て電子マネーが使えるとありがたい。

#### モニターから No. 14

電子マネー、よく利用します！！ポイントが貯まる、お得にお買い物ができるようで購買意欲が上がる気がします。ただ今後さらに拡大となると、やはり良い点とそうじゃない部分があるのではないのでしょうか。まず第一にお財布の中がカードでいっぱい、持ち歩くだけでも大変になると思うし、高齢者には取り扱いにくい方も多いのではないのでしょうか。現金がカードにチャージされたりすると、手元にいくらあるのか等、お金の不透明さもあると思います。そしてカードを落としたら・・・なんて考えると、個人情報筒抜けになってしまうようで、慎重にと扱わなければなんて思います。

便利な世の中になっていく一方で、不便さももしかしたら兼ね備えているのかもしれないですね。一個人としては、これからもお得に電子マネーを使用していきたいと考えています。

#### モニターから No. 15

電子マネーは流通系・交通系を1枚ずつ使用しています。現金のやり取りが省け便利ですが、個人情報や紛失・盗難のことも考え、商品やサービスの購入はほとんど現金扱いです。電子マネーを便利に使用したいとは思いますが、長年の習慣か現金扱いが一番安心できます。

仮想通貨とは耳慣れない言葉ですが、ネット上での取り引きは知識もなく、マネーゲームのようで、どんなに便利でも利用する気にはなれません。

#### モニターから No. 16

使用しているのは交通系電子マネーだけです。最初は乗車カードとしてのみ使っていましたが、買い物の支払いにも使える店舗が増えたので外出時には便利に使用しています。最近は大部分の店舗でそれぞれのカードを発行しているので使いたいと思いますが、複数枚になるのを思うとためらいます。お賽銭も電子マネーでどうぞという神社すらあるそうで、時代の流れで将来は財布を持ち歩く必要もない、カード1枚で済ます習慣が広がれば効率的であると思いますが、使いこなせない高齢者には配慮が必要かと思えます。